

会員各位

平成 27 年 3 月 24 日
一般社団法人
日本コンクリート防食協会

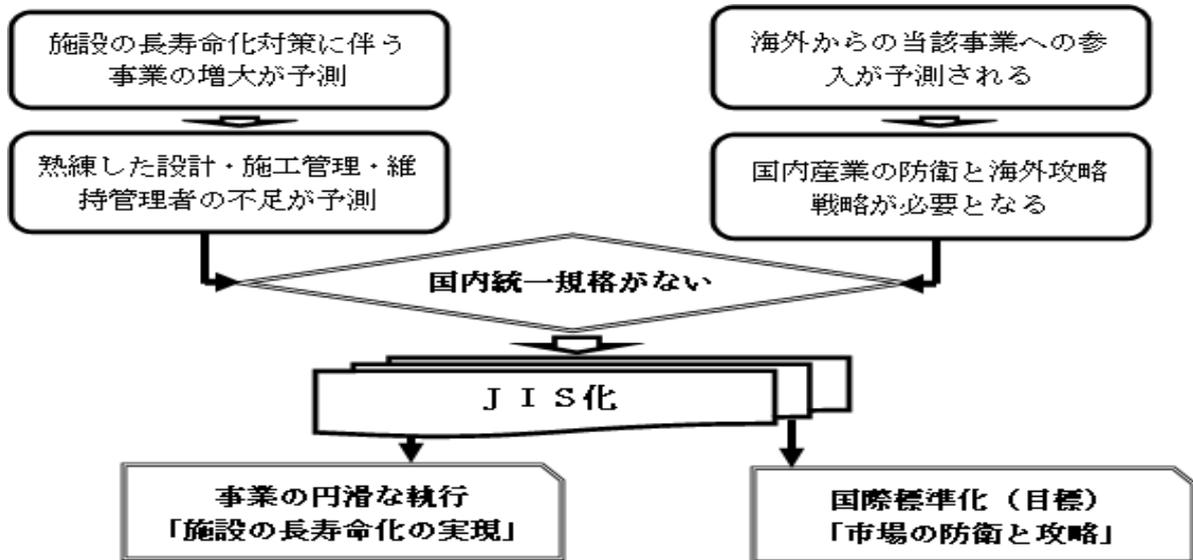
「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術」の J I S 化について

平成 24 年度に、日本規格協会の公募型 J I S 原案作成公募制度に、一般社団法人日本コンクリート防食協会が、地方共同法人日本下水道事業団と共同で申請し、原案作成に取り組んできた「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術」の J I S 化が、平成 27 年 1 月 30 日に開催された、日本工業標準調査会「土木技術専門委員会」において承認され、その後国土交通省を経て、正式に J I S として制定されることが 3 月 24 日に官報により公示される運びとなりました。

つきましては、「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術」の J I S 化の目的や期待する効果、並びに、JIS 制定に至る経緯等概要をご報告し、皆様方に制定された J I S の普及方にご協力いただきたく、お願いする次第です。

— 記 —

1. J I S 化を必要とした背景



2. J I S 化の目的

- ▶ 下水道コンクリート構造物の防食技術及び維持管理に関する基準およびマニュアルとしては、J S の「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食マニュアル」、東京都下水道局、神戸市建設局、北九州市建設局に、下水道施設コンクリートの改修に関するマニュアルなどがある。
- ▶ しかしながら、一般的に国内の下水道コンクリート構造物の防食技術及び維持管理については、仕様規定を設ける場合と性能照査型を用いる場合があり、現在は、施設管理団体の判断により運用されている。

➤ そのため、下水道コンクリート構造物の防食設計の考え方、防食工事における施工管理方法が管理団体により異なっている。

以上から、今後、全国各地で下水道の整備が促進され、下水道処理施設が増加する状況においては、下水道コンクリート構造物の防食設計の考え方や防食工事における施工管理を行う上で、下水道処理施設の基準およびマニュアルが統一されることが必要であると判断した。

また、将来的に国際標準化を検討していくためにも、先ず国内統一基準により、国内における防食技術の確立が重要と考えた。

3. J I S 化による期待効果

- ① 下水道コンクリート構造物の防食設計の考え方や防食工事における施工管理が標準化されることで、コンクリート防食の品質安定化が確保され、施設の長寿命化に貢献できる。
- ② J I S 化を第一ステップとして、国際標準化への足掛かりとなる。

4. J I S 制定までの経緯

原案作成から、JIS 規格として制定に至る経緯を、以下に示します。

- ① 平成 24 年 4 月 日本規格協会の JIS 原案公募制度への申請
- ② 平成 24 年 10 月 日本規格協会により採択
- ③ 平成 24 年 12 月 第 1 回 J I S 原案作成委員会
- ④ 平成 25 年 4 月 第 2 回 J I S 原案作成委員会
- ⑤ 平成 25 年 9 月 第 3 回 J I S 原案作成委員会
- ⑥ 平成 25 年 10 月 日本規格協会に原案提出
- ⑦ 平成 26 年 1 月 日本規格協会規格調整分科会（土木・建築分野）
- ⑧ 平成 26 年 9 月 日本工業標準調査会標準第一部会 第 1 回土木技術専門委員会
- ⑨ 平成 27 年 1 月 日本工業標準調査会標準第一部会 第 2 回土木技術専門委員会
注) 委員会承認を得る。

5. J I S の構成

タイトル：「下水道構造物のコンクリート腐食対策技術」

構成	番号	記載事項の概要
第 1 部 基本概念	JIS A 7502 - 1	◆ コンクリート構造物の腐食対策技術の基本的概念 ◆ 腐食対策の状況把握のための運転管理 ◆ 腐食対策技術を施した下水道構造物の点検
第 2 部 防食設計標準	JIS A 7502 - 2	◆ 設計方法 ◆ 品質及び試験
第 3 部 防食施工標準	JIS A 7502 - 3	◆ 防食被覆工法の適用条件 ◆ 防食被覆層の品質 ◆ 防食被覆工事の一般的施工方法 ◆ 検査 ◆ 報告

以上